

神田警察通り道路整備について

1 道路の形について

2 アンケートについて

3 街路樹の取扱いについて

3 街路樹の取扱いについて

■アンケート結果からの考察

回答割合

歩道の幅を拡げてほしい

75%

自転車走行空間を整備してほしい

75%



歩道拡幅及び自転車走行空間の整備を推進

神田警察通り沿道賑いガイドライン「◎実施すべきもの」としている。

歩行者通行空間 幅 2.0mを確保

自転車走行空間 幅 1.5mを確保

基準上最低限確保すべき幅員

※基準 千代田区道路整備方針・道路構造令より

3 街路樹の取扱いについて

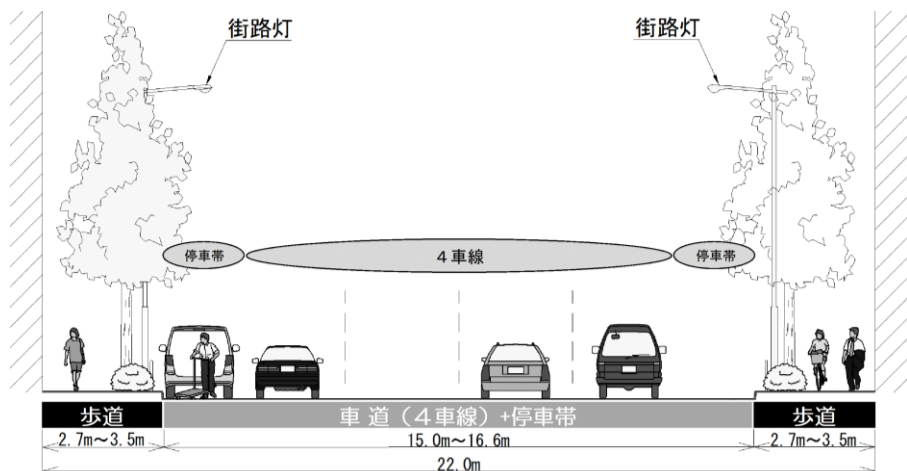
■道路整備と街路樹の位置関係について

既存の樹木を残した場合

- ・ 歩行者通行空間**2.0**m が確保できない
(有効幅員)
- または
- ・ 自転車走行空間**1.5**m が確保できない

歩行者通行空間と自転車走行空間を共に満たす必要がある

3 街路樹の取扱いについて

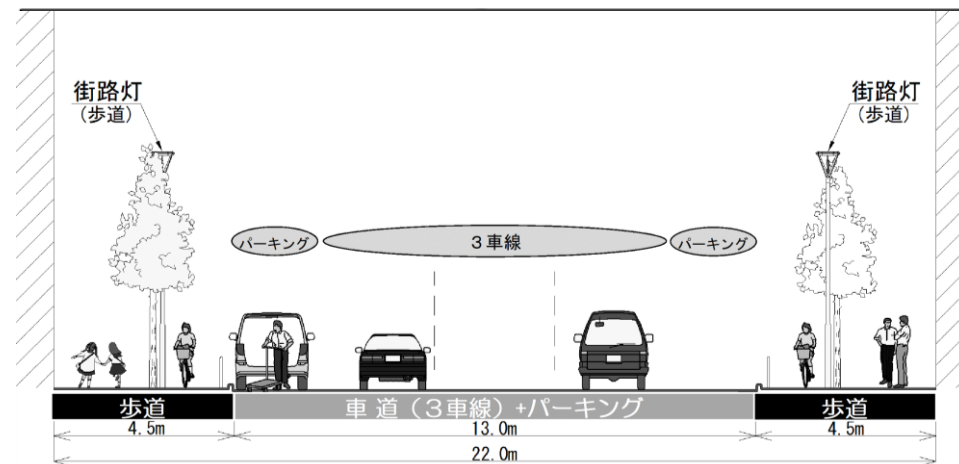


現況歩道幅員は、2パターンある

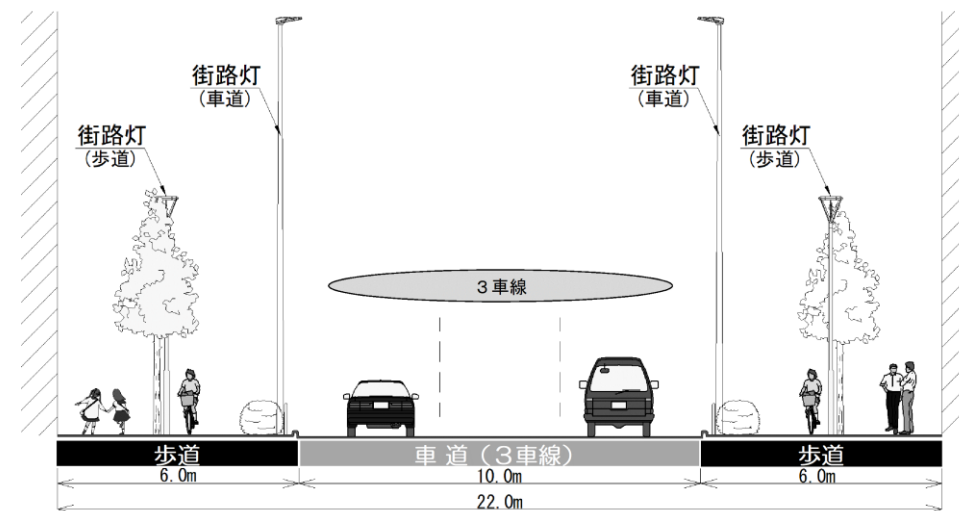
パターン① 2.7m

パターン② 3.2~3.5m

整備計画



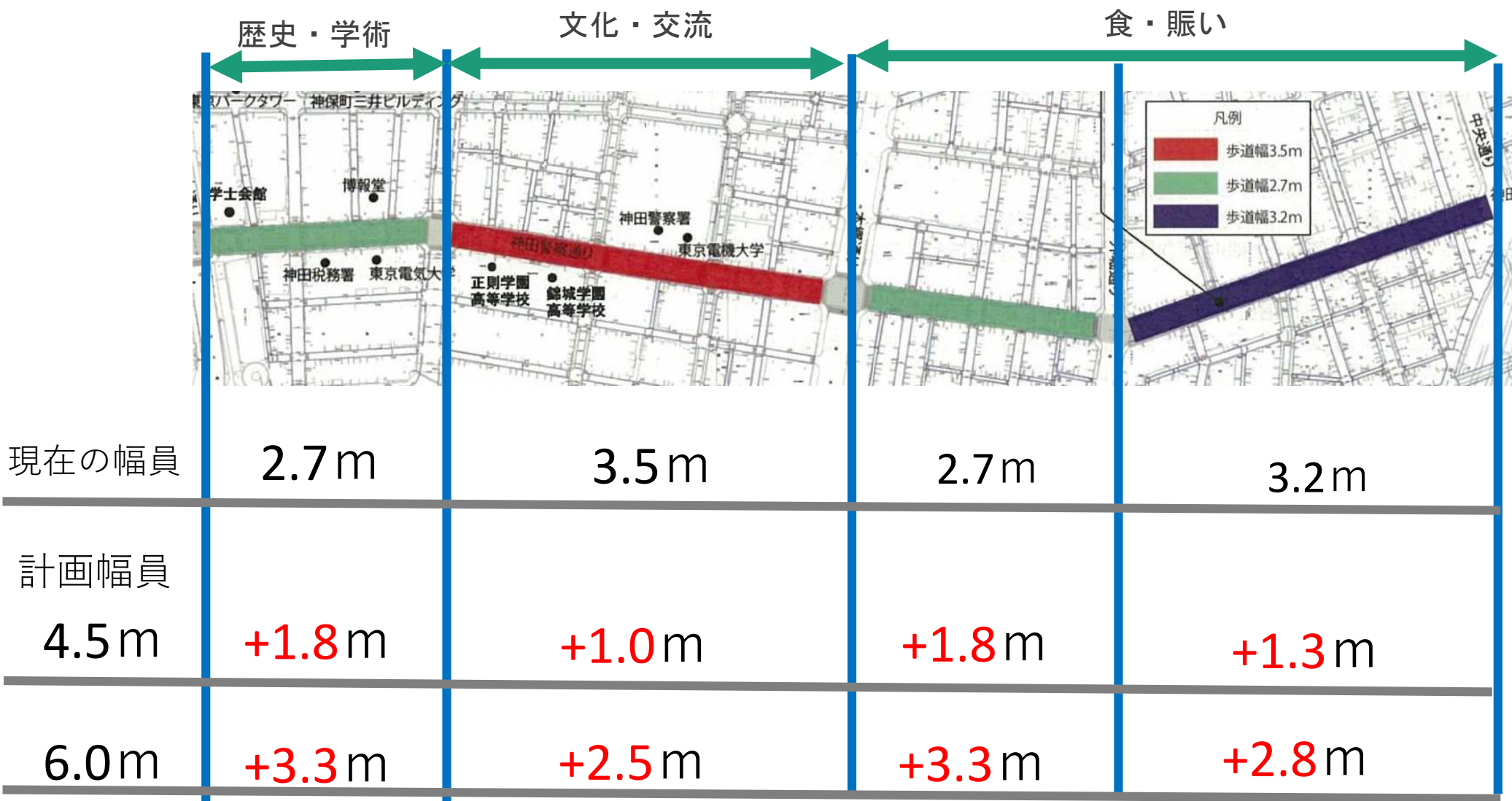
片側歩道幅員 4.5m



片側歩道幅員 6.0m

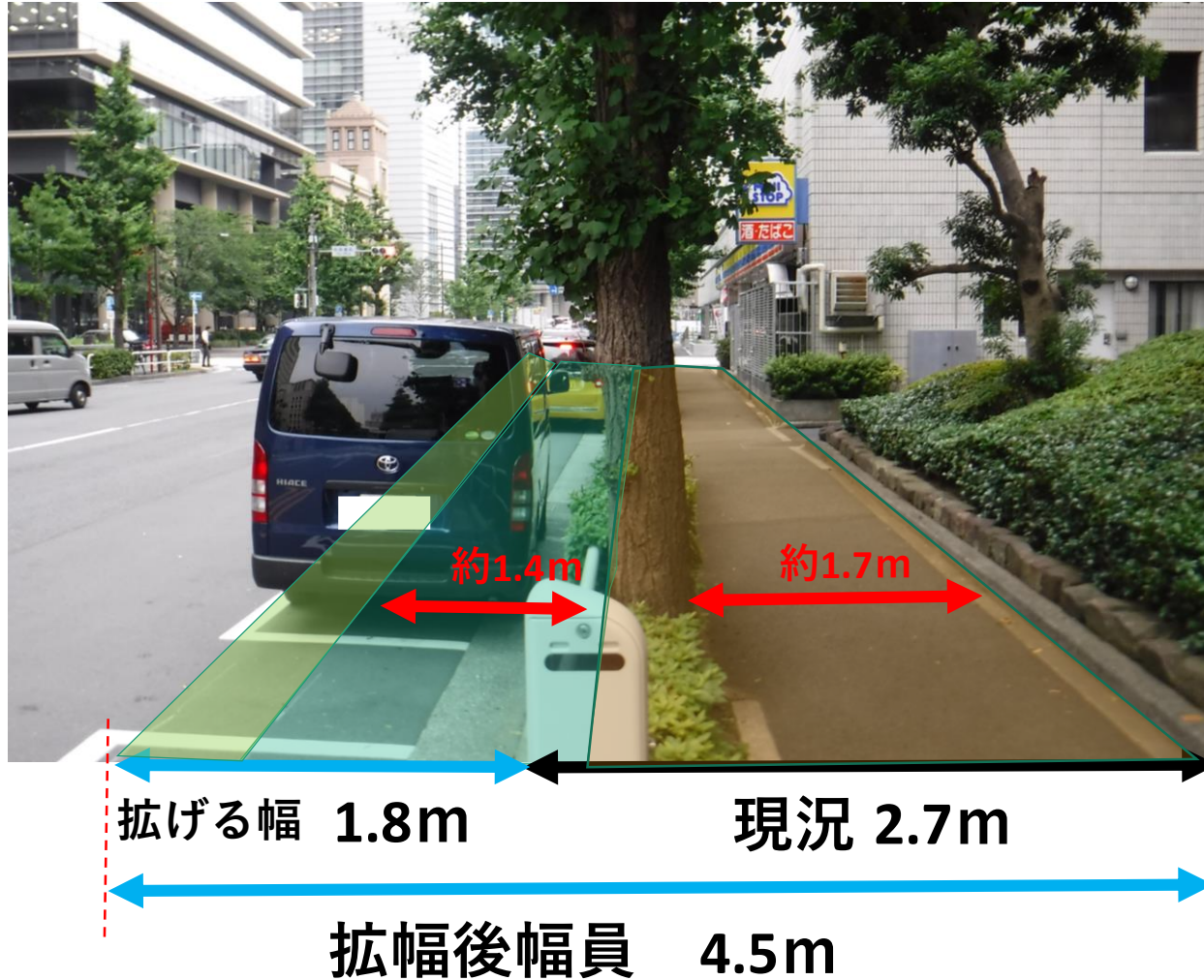
3 街路樹の取扱いについて

現在の歩道幅員から**拡がる幅**



3 街路樹の取扱いについて

現況幅員2.7mの街路樹の考え方

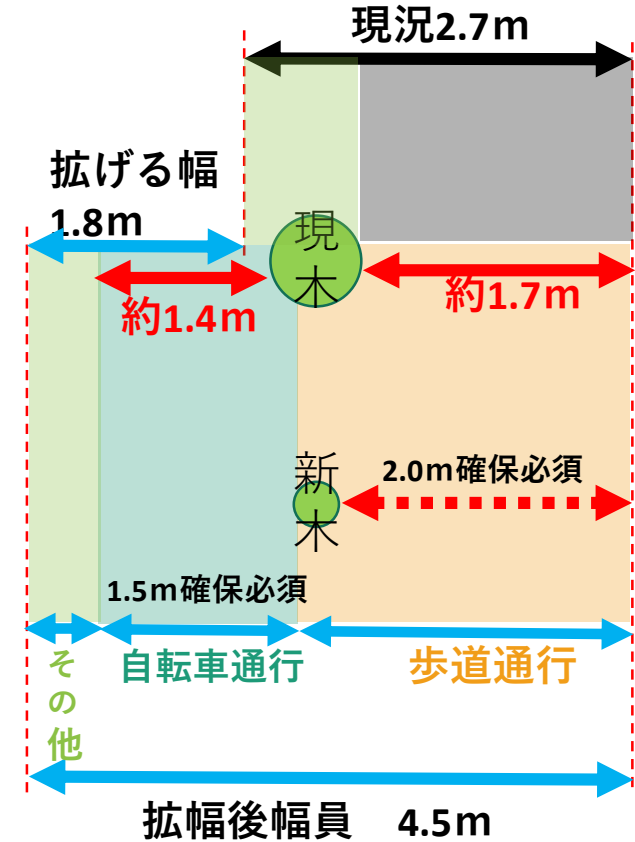


現況幅員2.7mの区間は、
既設の街路樹を残す場合



主に歩行者通行空間2.0mを確保できない

片側歩道平面図
(ノンスケールイメージ)

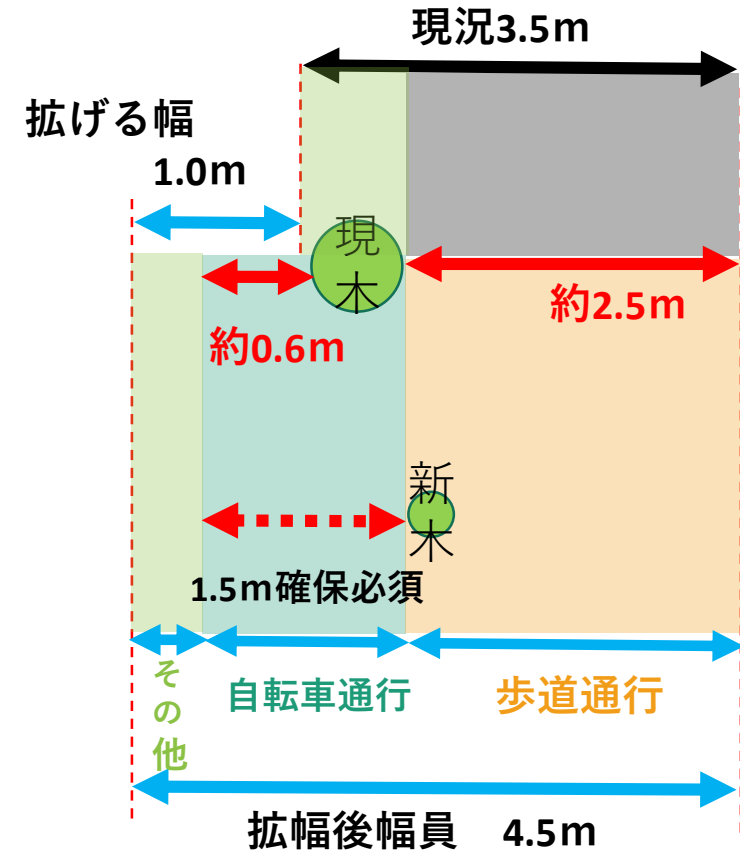


3 街路樹の取扱いについて

現況幅員3.2～3.5mの街路樹の考え方



片側歩道平面図
(ノンスケールイメージ)



現況幅員3.2～3.5mの区間は、
既設の街路樹を残す場合



自転車走行空間1.5mを確保できない 7

3 街路樹の取扱いについて

■ 今後の方針

- ・歩行者通行幅員の確保と自転車走行空間の幅員の確保のため、
街路樹を再整理



- ・既存の街路樹は撤去または移植により一度退く必要あり



新植する樹木を決め ⇒ 植樹する